

ディスクシアキー設計施工指針改定内容の説明会を開催しました

ディスクシアキーに関する技術の適用範囲が拡大し、設計施工指針が改定されました。(vol. 96に概要掲載)
それに伴う改定内容説明会を全国5か所で開催し、多くの関係者の方々にご参加頂きました。説明会では多くのご意見・ご質問を頂きディスクシアキーへの関心の高さをうかがうことができました。
頂戴したご意見は今後の課題として開発等に活かしてまいります。

寄せられたご意見
と
説明会の様子

施工教育

特に現場管理が重要となるので施工教育を施し専門性を高めることが必要。

外付けへの対応

断面修復工法を外付けにも対応してほしい。

軽量化

製品自体に重量があるので軽量化を希望する。

説明会

今後もこのような説明会に参加したい。

千鳥配置の適用

断面修復工法を千鳥配置にも対応してほしい。



説明会に参加できなかった方も設計施工指針は配布可能です。
また特記仕様書も変更しております。お気軽にご連絡ください。

株式会社 E&CS トグル制震事業部
0120-109-686

ひとりごと

災

平成最後となった「今年の漢字」は「災」が選ばれました。「今年の漢字」は、日本漢字能力検定協会が全国公募により最も多かった漢字が選ばれます。

北海道・大阪・島根での地震、西日本の豪雨災害、台風被害と1年を通して自然災害の多い年だったことや、仮想通貨流出やスポーツ界のパワハラ問題などを「人災」と捉えたことが理由に挙げられていました。

「今年の漢字」は平成7年からはじまり、最初に選ばれた漢字は「震」でした。この年の1月は阪神・淡路大震災に見舞われたこともあり「震」が多く応募されたようです。

また、過去選ばれた漢字をみると実は2004年にも「災」の字が選ばれていました。この年の10月に新潟県中越地震が発生しており、他にも大型台風が毎週のように上陸した年だったようです。

年々、甚大な被害をもたらす自然災害が多くなっているように感じます。防災意識の高まる中、今後も災害に強い社会づくりに貢献していきたいと考えます。

「災い転じて福となす」来年は素敵な漢字が選ばれるといいですね。

参考：日本漢字能力検定協会ホームページ